

新型コロナウイルス感染症の影響で、聞法が大きく失われてしまいました。このような時にすこしでも皆様に仏法に触れていただけるよう、紙面1枚程度の短い法話を連載いたします。

小松教務所

さるべき業縁のもよおせば、 いかなるふるまいもすべし

『歎異抄 第13章』真宗聖典 P.634

アメリカンフットボールの東西大学王座決定戦、第75回甲子園ボウルが、2020年12月13日に阪神甲子園球場で行われ、関西学院大学(西日本代表)と日本大学(東日本代表)が対戦しました。結果は我が母校、関西学院大学が42-24で日本大学を破り、3年連続31回目の優勝を果たし、自校の持つ最多優勝回数記録を更新しました(ちなみに私は在学中に4年連続で甲子園に応援に行く程アメリカンフットボールが大好きです)。



関西学院大学・日本大学・アメリカンフットボールのキーワードから皆さんは何か思い出すことはありませんか?反則タックル問題…覚えている方も多いのではないのでしょうか。

2018年5月6日、関西学院大学と日本大学におけるアメリカンフットボールの定期戦において、日本大学の選手の悪質な反則行為で関西学院大学の選手が大怪我を負いました。この一連の反則タックル問題は連日メディアで取り上げられ、様々な議論が交わされました。またこの問題により、日本大学の監督・コーチ陣は責任をとる形で辞任しました。

私はこの反則行為を目にする度に、強い憤りを覚えました。アメリカンフットボールにおいて、この反則行為はあり得ない反則なのです。まるで自分で反則を犯す強い意志があるとしか思えない、そして今までのアメリカンフットボール史上で見たことのない、あり得ない反則行為なのです。

私は反則行為をした日本大学の選手を恨みました。「よくも、我が母校の選手に大怪我をさせたな。よくも、あり得ない反則行為をしたな」と。私だったらあんな反則行為は絶対にしない、とっていました。私は、反則行為をした選手を極悪人のように見ていたのです。

時間が経つにつれて、問題の概要が判明してきました。反則行為をした選手は、監督コーチ陣から反則行為をするような指示があったのです。その指示があったから、選手は反則行為をしたのです。

私が日本大学の選手だったらどうだったでしょうか？絶対に反則行為をしなかったでしょうか？私には、反則行為をしなかったと言いけることができませんでした。監督コーチ陣から強い口調でのプレッシャーを受け、そして反則行為をしなかったら選手から外されるかもしれないとしたら…私も、日本大学の選手と同じように、反則行為をしたのかもしれない。



1967年に処刑された島 秋人さん^(※)が、このような言葉を残しています。

「極悪非道って善人が作った言葉だと思います。実際にこれにあてはまる人はいるのではないかと僕は思うのです。〈中略〉善人と思っている人は悪人と見る人があるけど、悪人と思っている者に悪人と見る心はないと僕は思います。あわれなやつと思うくらいでしょう。それぞれに理由があるからです。にくむべき罪人であっても極悪ではない。極善と言う人が居りますか？おそらく人間としてないだろうと思います。」

極悪非道という言葉を使うのは、いったい誰なのでしょう。世間、マスコミ、そして私たちなのです。まさに「自らが身を良し」とするものが、他に悪人を見ているのです。親鸞聖人の教えを聞いた人ならば、また自分を僅かにでもふりかえったことがある人ならば、自分が善人であるとはとても言えたものではないでしょう。しかし、自分だけは違ふと別格視したり、極悪非道の人を自分の外に見たりすることを、自分は絶対にしないと云えるでしょうか。



縁次第で何をしでかすかわからない私、自分だけは間違っていないと正義に立ち続ける私が、今ここにいます。だからこそ、自分のこととして教えを真摯に聞いていきたいと思います。

小松教区 金福寺 前川賢真

(※) 島 秋人 (しま あきと 本名 中村覚(なかむらさとる)1934/6/28 - 1967/11/2) は、新潟県で強盗殺人事件を引き起こした元死刑囚であり、1960年の一審の死刑判決後、1967年の死刑執行までの7年間、獄中で短歌を詠みつづけた歌人である。1963年に毎日歌壇賞を受賞。(ウィキペディア)